

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホームつつじⅡ(第1ユニット)	評価実施年月日	平成20年8月1日～平成21年2月2日
評価実施構成員氏名	渋谷 育美・伊藤 真奈美・加藤 明美・竹内 健人		
記録者氏名	渋谷 育美	記録年月日	平成21年2月15日

北海道

は外部評価項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>独自の理念があります。</p>	○	<p>地域に目根ざした文言を加えた方針を検討中です。</p>
<p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>玄関、休憩室、フロア等の目のつく場所に貼り、共有できる様に取り組んでいます。</p>		<p>日常生活を支援する中で行っています。</p>
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>見やすい所に掲示しています。御面会や御入居の際にも、説明しています。</p>		<p>運営推進委員会時に民生委員の方・御家族の方へ、日々の暮らしや取り組みについて話し、意見交換をしています。</p>
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>玄関周りには草花が植えられ、花壇を作っています。中庭では野菜を作ったりニワトリを飼う等しています。又、中庭には椅子が置いてあり、気軽に訪ねて頂ける様、努めています。</p>	○	<p>隣の施設の方も散歩の際、ニワトリ小屋を覗いたり、中庭の椅子をご利用されたりしています。又、お互いの行事に参加する機会を継続し、関係を深めていきたいです。</p>
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>小学校の催しや、お祭り、収穫祭等に参加させて頂いています。地域のボランティアの方(音楽・お茶・整体)に来て頂いています。雪明かりの路にも参加しています。</p>		<p>近隣の催しがあれば、出来る限り参加していきたいです。又、ホームでの催し物にもお誘いしたいです。町内会の災害時の取り組みにも参加しています。</p>
<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>町内会・民生委員の方々に声を掛け、花壇作りや夏祭りの準備のご協力を頂いています。</p>	○	<p>お互いの行事に参加し合い、関係を深めていきたいです。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>評価に対しては、職員全員で受け止め、改善に取り組んでいます。</p>		改善する必要があるれば、問題等を話し合う機会を設けたいと思います。
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>2ヶ月に1度、運営推進委員会を開催しています。</p>		運営推進委員会では、自己評価・外部評価について確認する時間を作り、改善に向けた取り組みをお伝えして、意見交換の中からもサービス向上へ活かせる様にしています。
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>機会を作る様にしているが、調整が難しく行えていません。</p>	○	市町村と連帯し、サービスの質の向上に取り組んでいける様な機会を作っていきたいと思っています。
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>研修で学んでいるが、該当者はいません。</p>		その機会があれば、検討します。
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> <p>虐待のシンポジウムに、職員は参加しています。社内で身体拘束委員会を設置しています。社内研修での勉強会も行っています。</p>		今後も社内研修に盛り込んでいきます。講習や研修に参加していきたいです。
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>契約前は十分に説明を行い、契約後にも利用者・家族とよく話し合っています。</p>		今後も十分な説明を行い、理解・納得を図っていききたいと思います。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族の面会時、運営推進委員会において、意見交換・交流の機会を設けています。		御家族は面会時や電話にて、利用者は日常の生活の中で意見・意向を聞けるようにしています。
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	面会時やお電話にて、健康状態や暮らしぶりについてお話しています。2ヶ月に一度、報告としてお便りを送っています。金銭管理では、お小遣い帳を作成し、収支を明らかにしています。		面会時等にはアルバムや作品等をみて頂きながら、暮らしぶりを伝えていきたいです。ホーム便りの発行も、年2回行っています。
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	今の所ありませんが、意見・不満等話せる様な、雰囲気作りに関心掛けています。意見箱も設置していますが、今までご意見は頂いていません。		ご意見を出してもらいやすい様に、面会簿にも記入欄を作っています。又、運営推進委員会においても、具体的に話題を提供し気持ちを伺っています。
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に1・2度フロア会議を行っています。職員から意見や提案を聞く事があれば反映しています。		今後も職員の考えや意見を反映し出来る様、努めていきます。
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	利用者の状況変化があった時には、対応できる体制があります。		施設長・看護師の連絡、協力が得られる様になっています。
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	異動時・離職時には、利用者が不安を感じない様に、見守り・心配りの強化に努めています。		関わりを多く持つ様に、少しでも寂しさや不安を解消して頂ける様に努めています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	社内勉強会を月に1回行っています。実践者研修や市役所、保健所等で行っている社外研修にも参加しています。	○ 今後も積極的に、社内・社外研修を取り入れ参加したいです。
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	道内のグループホームに積極的に見学へ行き、質の向上に努めています。	○ 見学だけでなく交流を持ち、意見交換をする場を持ちたいです。
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	職員同士が交流する機会を多く設け、気軽に相談したり話せる雰囲気作りをしています。	職員同士が話し合ったり、相談できる雰囲気作りを、今後も作っていききたいと思います。
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	勤務状況を把握し、それぞれの職員が能力を発揮できる様に心掛けています。段階に応じて、外部の研修にも参加してもらい学ぶ機会を作っています。又、資格の取得も勧めており、働きながらヘルパー2級の取得や、介護福祉士等の資格取得についても勧めています。	職員の意向を受け入れ話し合い、各自が向上心を持てる様にしていきたいと思っています。又、勤務年数や個々の実績に応じて、実践者研修・管理者研修にも参加させてもらっています。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	入居に関しては、利用者本人の意見や意向を尊重し、利用者が希望している生活に近づけられる様な努力をしています。又、サービス利用中も継続的に利用者の意見や意向を確認しています。	○ ご自分の意見や意向について、はっきり伝えられない利用者に対しては、言葉だけでなく表情等のコミュニケーションから、気持ちを汲み取る様に努力していきたいです。
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	家族が悩んでいる時等、差し障りのない範囲で聴き、少しでも支援出来る様に努力しています。	家族の協力を得ながら、無理のない様に進めています。生活の場面を電話や面会時に、細やかに伝えています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	利用者と家族の気持ちを出るだけ理解し、対応に努めています。		入居を不安に思っている方には、ホームの見学を勧めています。不安な事や求めている事を、受け止める事が出来る様努めています。
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	入居の際は家族だけでなく、出来る限り本人にも事業所の見学をして頂く様にしています。見学が出来ない場合は、管理者や職員が事前に本人にお会いしてホームの雰囲気説明しています。		お食事の希望があれば、応じる用意が来ています。御本人・御家族の心情を考慮しながら、安心してサービスを開始出来る様対応していきたいと思えます。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	家事等の場面では、料理の作り方を教えて頂いたり、一緒に食材を切って頂く等して、共に支え合う生活をしています。		これからも利用者から教えてもらう姿勢と、お互いに支え合う気持ちを続けたいと思えます。
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	御家族の方と共に日々の生活について共有し、面会時や電話等で関係を深めています。		外出・外泊・ホームの催しに招く等して、御家族と一緒に過ごしながら楽しい時間を過ごす等して、家族と共に支えていく関係を築いています。
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	御本人や御家族とよく話し、生活歴や性格を理解し、より良い関係になる様に支援しています。		本人・家族の関係、家族間の関係等を理解し、連絡調整等がスムーズに進む様にしていきます。
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	友人の面会が時々あります。		友人・知人の面会の際には、ゆっくりくつろいで頂ける様、心掛けていきます。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	難聴者には職員が中に入り、会話のお手伝いをしています。お茶の時間には、テーブルを囲み、利用者同士の会話が弾む様に努めています。		今後も職員が周りの様子を見て、仲間作りが出来る様に支援していきます。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	退所時には、移転先を聞く様にしています。又、何かあった時は、いつでも相談に応じたいことを伝えていきます。		退所してからも利用者・家族が、気軽に訪ねてもらえる様な、良い関係を作りたいと思います。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	3ヶ月に1度ケアプラン作成の際、本人の思い・暮らし方の希望を訪ねています。又、日々の生活の会話の中からも、本人の気持ち・思いを聞き出しています。	○	今後も困難な方には、御本人にとって安心・安楽とは何かを考え、本人本位に検討する様、努めていきたいです。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	御家族や御本人にお聞きし、独自のフェースシート・インフォメーションシートを作成しています。職員は必ずそれらに目を通し、利用者の把握に努めています。		各職員が聞き取りした内容を共有し、把握しています。御本人の好みや習慣を損なう事がない様に努めています。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	1日の言動・バイタル測定・食事摂取量等の把握を行い、記録に残す様にしています。状態については申し送り等の際に、職員間で共有する様にしています。		利用者の状態の把握に努め、日々のサービス提供が、円滑に行える様にしています。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	会議を開き、それぞれの意見やアイデアを話し合い、作成しています。御家族の方には面会の際、ご意見をお伺いしています。	○	今後も継続して取り組んでいきます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	病気・ケガ・身体の変化等、個々の状況に合わせ見直しを行っています。		今後も状況に即した計画を作成し、生活を支援していきます。
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個々に1日の様子を記録しています。職員は必ず、それに目を通して見ます。又、職員共有のノート(日中・夜間)に記入して、情報を共有し見直しを行っています。		今後も記録の充実に努め、利用者の状態にあった介護計画を作成していきます。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	専門職種の応援が得られる様になっています。		准看護師・歯科衛生士・ケアマネ等、その時に手助けが得られる体制にしています。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	民生委員の方は運営推進委員会へ参加しています。消防による救急救命講習は年2回あり、地域の小学校では運動会や学習発表会等へ招待して頂きました。又、幼稚園の園児が来て下さり、中庭にて歌や踊り等を披露して下さい、交流を持つ事が出来ました。ボランティアによる例会や茶道やマッサージの先生によるボランティア活動等もあり、協力しながら支援を行っています。		ボランティアによるお茶会・例会・指圧マッサージは、利用者からの評判も良く、今後も協力を頂きたいと思っています。
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	他のケアマネや事業者と連絡をとっています。		入居の際の相談や転居等で、協力を得ています。ケアマネにもホームの見学を勧め、生活を見て頂く事を勧めしています。
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	必要時には地域包括支援センターに、相談しています。又、2ヶ月に1度、推進委員会のお知らせを行っています。		新しい利用者の入居相談も続けていき、状況によりグループホーム利用可能か、必要事には相談したいと思っています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援をしている。</p> <p>御契約時に本人・家族と相談し、入居後のかかりつけ医を決めています。ご希望がなければ、施設の協力医(内科・整形外科・精神科・歯科)をご紹介します。日頃からかかりつけ医との連絡体制を密にし、何かあった時はすぐに対応して頂ける様な関係を築いています。</p>		<p>病院から受けた指示や病状の説明等は、御家族に説明を行っています。</p>
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p> <p>かかりつけ医に定期的に受診し、相談を行っています。専門医の診療が必要であれば、対応しています。</p>		<p>かかりつけ医が認知症専門医なので、診断・治療を受けています。必要であれば、他の病院への紹介もして頂いています。</p>
45	<p>○看護職との協働</p> <p>事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p> <p>看護職員は確保していませんが、協力病院の看護師とは連絡を取り合っています。</p>		<p>特に入退院の際には、看護職に相談し指示を頂いています。</p>
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p> <p>早期退院に向け、医師とは密に連絡を取り、退院が出来る様に対応しています。</p>	○	<p>今後も入院中の情報交換を頻繁に行い、利用者の不安軽減に努めていきたいです。</p>
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p> <p>御本人・御家族の意向を伺い、かかりつけ医に相談しています。</p>	○	<p>本人・家族の意向尊重し、支援していきたく思います。</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p> <p>主治医の指示のもと御家族と話し、必要に応じて対応しています。</p>		<p>ホームでの生活が1日でも長く続けられる為に、かかりつけ医の協力を得て、本人や家族が安心出来る様に支援していきたく思います。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
<p>49 ○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>住替え先には十分情報提供を行っています。</p>		<p>本人・家族の希望に合わせて対応をしています。</p>
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
<p>50 ○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>慣れすぎず柔らかい口調で、人生の先輩という事を忘れず、日々対応しています。</p>		<p>個人情報の取り扱いには十分注意しています。</p>
<p>51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>職員が何事も決めてしまうのではなく、出来る限り利用者が自己決定出来る様に、利用者へ確認をとって物事を進める様にしています。自己決定が出来る事で、利用者の自信の回復につながる様支援しています。</p>		<p>はっきり自分の思いを表せない利用者にも、質問を簡単にする等工夫を行い、自己決定する機会を少しずつ増やしていきたいと思っています。</p>
<p>52 ○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>入浴の日や体操・レクリエーションの参加等は、職員が押し付けず、利用者が自分の体調等を考えながら決められる様に、必ず確認をしています。1人1人の性格状況にあった関わりを大切にしています。</p>		<p>起床時間・就寝時間・食事の場等、1人1人のペースに合わせて支援しています。</p>
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>53 ○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>利用者と一緒に衣服を選んだり、その人らしい身だしなみを支援しています。</p>		<p>好みを考慮し支援しています。散髪では御自身の希望のカット等を聞いてます。</p>
<p>54 ○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>落ち着いた楽しい雰囲気の中、職員と共に食事を楽しんでいます。個々の状態を考慮し、食事の準備、片付け等をお願いしています。又、季節や行事にあったメニューも提供し、美味しく食べられる様に努めています。</p>		<p>食事の時間が楽しいものになる様、体調変化の把握、食事状態の観察には十分気を配っています。又、状況に合わせて1人1人が食事にたずさわって頂ける様努めています。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	各個人の状況・状態を把握し、好みの物を出来るだけ提供しています。		タバコを吸われる方がいますが、医師と相談し本数を決め、職員見守りのもと吸って頂いています。
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	個々の排泄パターンを把握する様、日々職員間で(夜勤者も含め)情報を共有し、声掛けや誘導を行い、気持ち良く排泄できる、暮らしていける様、心掛けています。		行動や声掛け等に考慮し、又尊厳を大切に対応していきます。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	体調や本人の気分に配慮し、出来るだけ本人のペースで入浴できる様、又満足感、爽快感につながる様心掛けています。		シャワー・清拭等も用いながら、各個人に合った対応をしていきたいです。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	日中の様子や運動量を知り、安眠につながる様、又危険がない様見守りを行っています。		夜勤者からの申し送りや記録により、睡眠パターンを十分把握し日中の活動につなげています。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	趣味や得意な事を自身の日々の役割として行ない、生活の張りにつながる様支援しています。	○	日々の生活の中で新しい役割や楽しみについても、支援していきたいです。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	実際にお金を持って頂いている方もいます。事務所にて、お小遣いとして管理しています。都度、必要な物があれば購入しています。	○	御本人が持つ事で安心感を抱いているので、引き続き対応していきたいと思います。又、利用者の希望に応じ、買い物に出る機会を日常的に作る様、努めていきたいと思います。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	事業所周りの散策、畑での野菜収穫を行なっています。また、近隣の小学校の催し物等に出掛けています。		利用者の方の体調をみながら、無理強いせず、外出支援を続けていきたいと思います。
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	春には花見、秋には紅葉と、季節を楽しめる事も取り入れています。家族と共に外出・外泊する利用者もいます。	○	外出する機会を多くもち、又、家族も参加して頂ける様、取り組んでいきたいです。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	家族や友人宅へ電話を掛けたい時は、いつでも掛ける事が出来ます。御本人が希望される時に支援しています。		御本人の気持ちに添った支援をしていきたいです。
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	面会者が居心地良く過ごせる、雰囲気作りに努めています。		御家族・御親戚・御友人等に、よく面会して頂いています。
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止については委員会を開催しており、日頃から話し合い、大切さを確認しています。	○	社内研修において、定期的に学んでもらい確認してもらっています。
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	利用者の方の状態、その時の状況に合わせ、施錠を行う時もあります。夜間は防犯上、施錠しています。		利用者含め、職員・家族が出入する、共有の場所もある為、必要に応じ施錠を行う事があります。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	安全が第一と考え、様子等を記録し申し送りを行っています。		利用者の方のプライバシーに配慮しながら、安全確認を行います。
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	洗剤を含む薬剤・火器・刃物・薬類は管理しています。必要の際は状況に合わせて渡し使っています。		御家族と話し合い了解を得ています。
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	定期的に研修を行い、個人の体調・様子を把握し、事故防止に取り組んでいます。		事故が起こった際の対応、連絡体制も整えてあります。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	夜勤者を含めた職員全員が、研修に参加出来る様にしています。		消防署に協力して頂き、救急救命の講習会、フロア内での研修を行っています。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	避難訓練、自主訓練、夜間避難訓練等行っています。隣接しているグループホームと協力し、安全に避難出来る体制を整えています。又、職員は民生委員の方の紹介で、地区で行われた災害図上訓練DIGに参加し、地域防災の取り組みについても学ぶ機会を持ちました。	○	今後も定期的に避難訓練や救急救命の受講を行い、避難や救助が出来る方法を見つけていきたいです。
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている。	身体的・精神的な面から、主治医の指示や家族からの情報を頂いて、対応策を話し合っています。		食事の形態を見直したり、歩行時の支え等を配慮し、転倒の危険性や誤嚥する危険性等を、家族に説明しています。又、行っている対応もお伝えしています。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎日各個人のバイタル測定を行っています。会話・表情・様子等からも、異変を察知し対応しています。		何か変化がある際は、かかりつけ医へ連絡し、迅速な対応をしています。
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の説明書を見て、副作用・用法・用量の確認をしています。又、服薬時、日付け名前を読み上げ確認します。		今後も安全な服用と、症状の変化の確認に努めていきます。
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	体操・飲食物の工夫、医師への相談等を行っています。又、水分量・排泄状況の把握に努めています。		乳製品を提供したり、体を動かして頂いたり、便秘薬の調整(医師からの指示)を行っています。
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	各個人に合わせ、適切に行ってもらってます。援助が必要な方は見守り、一部介助を行っています。		正しい手順で行えているか見守りし、不十分な部分は援助していきます。
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	毎食時、食事量・水分量をチェックし、記録しています。飲み込みの悪い方等、1人1人の状態に合わせ、刻み食・ミキサー食・お粥・とろみを付ける等工夫しています。		嚥下機能の低下を防ぐ為、口腔体操等も取り入れています。定時に水分を勧め、種類にも変化をつけて、飽きがない様工夫しています。
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	毎年、職員・利用者は、希望をとり予防接種を行っています。食事取り扱い、汚物の処理等と、取り決めてた感染症マニュアルを作成しています。感染予防対策として、次亜塩素酸ナトリウムを使用して掃除を行っています。又、流行時は面会者にも手洗い・マスクの使用をお願いしています。		感染症予防の利用者・職員共に、うがい、手洗いを励行しています。運営推進会議においても、インフルエンザの予防について、お話しさせていただきました。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	台所は毎日掃除を行い、常に清潔にしています。調理器具は1日1回、消毒を行い衛生管理を行っています。冷蔵庫の整理・消毒は週1回行っています。食材を使用する際は、鮮度の確認、賞味期限等を確認しています。		食材を使う際は、手洗い・消毒を徹底しています。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	中庭には芝生や樹木が周りにあり、癒しの空間になっています。畑にはお花や野菜を植え、玄関には草花を飾ったり、観葉植物を置く等温かい雰囲気を出せる様に努めています。	○	秋冬にかけて、花壇が寂しくなってしまう為、四季折々に楽しめる様工夫していきたいです。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節の草花や飾り(ひな祭り・五月人形・クリスマス・お正月)をし、季節感を出せる様配慮しています。毎日のお掃除により、快適な環境作りを心掛けています。不快な音や光がない様に、その都度職員が調整しています。		快適に過ごして頂けるような、空間作りに今後も努めていきます。食事の内容にも、旬の物を取り入れ季節を味わって頂いています。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビング・食堂・個室等を自由に使用して頂き、気の合う仲間同士おしゃべりを楽しまれたり、個室でゆったりと休まれたりと、思い思いの過ごし方をしています。		安心してくつろいで頂ける様配慮し、季節を感じられる様な雰囲気作りを心掛けています。
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時、以前に使用されていた家具等、使い慣れた物を使用して頂いています。		家具・置物・写真・衣類・食器等、以前から愛用されていた物を持って来られています。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	温度や湿度は定期的に確認し、湿度は50%～60%に保つ様、タオルを濡らし窓辺にかけたり、利用者の手の届かない所に、洗面器に水をはったりしています。又、空気の入換えを行ったり、臭いが気になる様であれば、換気扇をまわす等し、居心地良く過ごせる様配慮しています	○	これからも居心地の良い空間で過ごす様、温度・湿度調整・換気に努めていきたいです。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している。	ホーム内の床は全面バリアフリーで、安全に歩ける様にしています。廊下・階段・トイレは手すりを設置しています。浴室も手すりと滑り止めを使用し、安全に入浴して頂ける様努めています。	○	トイレ・浴室・居室の入り口には、わかりやすい表示がしてあります。今後も安全に出来るだけ自立した生活を送れる様、環境作りに努めていきます。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	御本人の出来る事、出来ない事を把握し、出来ない部分については一緒に行って頂き、自立に向けての支援を行っています。	○	職員と一緒に炊事やお掃除、洗濯、縫い物等の活動を、無理のない範囲で楽しく行っています。自信の回復を図りながら、自立に向けた支援を、今後も行っていきたいです。
87	○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	中庭や散歩道ではゆったりと過ごし、野菜を収穫したり、花が咲くのを眺めて過ごしています。中庭ではホーム喫茶を開いたり、ボランティアでお琴の演奏が開かれたりし、他のフロアの方や同じ敷地内のグループホームに入居されてい皆さんと、楽しく交流できる場として活用しています。		中庭には地域の小学生がお祭りの時に、御神輿を担いで来て下さったり、幼稚園の園児が歌や踊りを披露しに来てくれたり、冬場には雪明かりの路のキャンドルを灯し、利用者に見て喜んで頂く事が出来ました。又、他のホームへ行き、お茶や談話を楽しむ時間を定期的に作っています。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんど掴んでいない	①
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない	①
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	①
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	②
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	②
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	①
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	①
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	① ほぼ全ての家族 ② 家族の2/3くらい ③ 家族の1/3くらい ④ ほとんどできていない	②
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない	①

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない ②
98	職員は、生き生きと働いている	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない ②
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない ①
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない ①

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

家庭的な雰囲気の中で、ご家族の意向を聞きながら、利用者の方々が安心して安全に生活できるよう努めています。また、地域の方々の協力を得ながら交流を深め、地域に根ざしたグループホーム作りを目指しています。